

「星野道夫 一星のような物語」展

アラスカに魅せられ、その世界を描写した写真家 星野道夫 (1952~1996)。

不慮の事故から10年が過ぎましたが、彼が残した膨大な写真や文章は、多くの人々を魅了し続けてきました。

今回の展覧会では、静けさと温かさに満ちた彼のまなざしを通じて、「命の強さともろさ」を紹介します。

◇と き **8月12日(日) ~ 9月2日(日)**

午前9時~午後5時

※8月18日(土)・19日(日)は、午後8時まで観覧できます

◇ところ **みのかも文化の森**

◇観覧料 一般 300円
(150円)

高校生以下 無料

()は、20人以上の団体、かるちすとくらぶ会員



© Naoko Hoshino

関連事業

■オープニングイベント

●「星野道夫作品鑑賞会 一作品をみる・きくー」

◇と き 8月12日(日) 午後2時~3時

◇ところ 緑のホール 120人(当日受付)

①ブックトーク

星野道夫氏の著作や生きざまを紹介します。

②星野道夫作品鑑賞会

作品のスライド上映を著作の朗読、演奏とともにを行います。

朗読：みのかも「声のドラマ」の会

演奏：高橋のぞみ(ピアニスト)

◇参加料 無料

■タイアップ

●「星野道夫の世界」展

星野道夫氏の著作の紹介コーナーを設けます。(貸し出しできます)

◇と き 8月7日(火)~9月9日(日)

◇ところ 中央図書館

※詳細については、中央図書館(電話 25・7316 <http://www3.city.minokamo.gifu.jp/>)へ

みのかも文化の森 28・1110



星野道夫(ほしのみちお)

アラスカの野生動物と自然、人々を撮り続け、作品を写真誌などに発表。海外の雑誌でも活躍し、多くの展覧会で高い評価を得て、賞を受賞。1996年8月8日、取材先のカムチャツカ半島でヒグマの事故により急逝。

撮影：星野道夫 写真提供：星野道夫事務所